

ヒノキブン株式会社

SDGsの取組

<p>取組・活動内容</p>	<p>・建設業は市場縮小もありますが、地域の環境・安全・安心をテーマに時代の変化に対応し、生活者（地域社会）に貢献することを経営理念といたしております。 ・注文住宅では高気密高断熱の住宅に力を入れてあり、住宅の省エネルギー性はもとより、あたたかい住宅で住む人に健康を提供できる様に始めています。又2年前よりCLTパネル加工の新事業をスタートさせました。低炭素社会の実現に向け国産木材を大量に使用する事にチャレンジしています。 ・ヒノキブンでは、経営理念のなかに謳われている協働の精神を土台に、ハウス事業（住宅）・ハウスパーツ事業（プレカット）ビルド事業（大規模改修工事）といった3つの事業を通じて国連が提唱する持続可能な開発目標につなげ地域社会に貢献していきます。</p>		
	<p>目指すゴール</p>	<p>取組・活動内容とゴールとの関係</p>	<p>目標</p>
<p>経済</p>	<p>6、7</p>	<p>・節水こまや節水型トイレを導入している。・太陽光発電システムを導入し、自家消費している。</p>	<p>・国境を越えた適切な協力を含む、あらゆるレベルでの統合的な水資源管理を実施する。2023年までにすべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成する。・ヒノキブンのプレカット事業では、長年、木質系プレハブ住宅、ツーバイフォー住宅パネルの製造を行ってきました。2030年まで毎年工場内での木材の端材の98%は、バイオマス燃料、床材の下地材等有効利用に努めます。</p>
<p>社会</p>	<p>4、17</p>	<p>・工場見学の受け入れ・地域における清掃活動を実施している。</p>	<p>・2030までに、すべての人々が男女の区別無く、安価で質の高い技術教育、職業教育、および大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。・一年2回に従業員（7～10人ぐらい）清掃活動を参加します。2025年全員一年5回に従業員清掃活動を参加する。・ヒノキブンは、創業以来130年以上、姿を変えながら木材に携わった事業を図ってきました。経営理念の精神でもある1. 地域社会への貢献2. 顧客満足の追求3. 時流に乗る4. 物心両面の充実をベースに200年企業を目指します。</p>
<p>環境</p>	<p>12、13</p>	<p>・両面コピー、縮小コピー、使用済み用紙の裏紙利用などによる全社的な紙の使用量削減を実施している。FAXをパソコンに取り込み、必要なものだけを印刷している。・通勤や業務において、公共交通機関又は自転車利用を促進している。次世代自動車の導入</p>	<p>・持続可能な消費と生産のパターンを確保するの為にリサイクルの推進。貧困や不平等、教育、環境などに関連して、2030年までにあらゆる国と地域が達成すべき17の目標です。・2021年度自動車の全保有台数13台うち次世代自動車（ハイブリッド、電気、自然ガスなど）の合計保有台数7台。10%（2015年）→50%（2020年）→80%（2025年）次世代自動車保有台数が全保有台数の80%以上割合目標です。</p>